

第2回水道スマートメーター推進に関するWG

議事要旨

開催日時：令和8年2月5日（木） 10:30～12:30

開催場所：中央合同庁舎2号館2階 A会議室

出席者

（座長）	石井 晴夫	東洋大学名誉教授
（委員）	都丸 敦	公益社団法人日本水道協会工務部技術課長
	木暮 昭彦	公益社団法人水道技術研究センター参与
	向本 圭太郎	東京都水道局総務部企画調整課長
	外山 典靖	湖西市環境部上下水道課課長代理
（事務局）	国土交通省水管理・国土保全局水道事業課	

議 事

- （1）委員からの取組報告
- （2）第一回ワーキンググループを踏まえた検討について

【挨拶】

（筒井水道事業課長）

- 今年1月に閣議決定した社会資本の整備推進計画において、水道分野のスマートメーターの実装を推進することが盛り込まれた。
- ワーキンググループの議論を踏まえ、ガイドライン、事例集を年度内に公表する予定である。

（石井座長）

- 水道分野のスマートメーターは、国も普及促進に取り組んでいるという状況である。
- こうした状況も踏まえ、WGとして、ガイドライン及び事例集の策定に取り組んでいく。
- 他方、計量行政審議会小委員会では検定有効期間の延伸の検討結果について報告があり、水道分野のスマートメーターの普及促進に期待している。

【議事（1）委員からの取組報告】

○資料1 取組報告（水道技術研究センター）

- ・仕様の統一というのはすごく大事な論点である。
- ・その他のフォーマットの統一化についての検討は、JWRCの調査研究の中で議論を進めたい。

○資料2 取組報告（湖西市環境部）

- ・水道分野のスマートメーターの導入では、国の補助金を活用している。
- ・水道分野のスマートメーターの必要経費も見込み、水道料金の改定を進めている。
- ・フレイル検知については、福祉部門がメインで行い、水道部門の情報を手段、道具として扱っていただいている。

○資料3 取組報告（東京都水道局）

- ・東京都が、国のガイドラインを参考とし防災分野における利活用の手引きを作るということで、今後、非常に期待している。
- ・見守りサービスの情報を、家族より包括支援センターへ提供することを検討している。

【議事（2）第一回ワーキンググループを踏まえた検討について】

- 水道分野のスマートメーターのデータ利活用をするに当たっては、個人情報の扱いが課題であったが、ガイドラインで整理され参考になる。
- 水道分野のスマートメーターの利活用に関するガイドライン及び水道分野のスマートメーターの導入事例集は、この内容で承認する。
- 最終的な文言調整等については、座長一任とする。